



グローバルセンターだより

Glocal Center

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震。この3か月の間、本学では、甚大な被害を受けられた方々を支援するため、学友会はチャリティーライブを、鳥取看護大学学生赤十字奉仕団は義援金の募金活動を実施しました。また、消防防災サークルToCoToN FASTは学内全体の防災意識の向上を図るために防災グッズの展示を行いました。この度の地震により被害を受けられたみなさまへ、心よりお見舞い申し上げますとともに、ここ倉吉が『福高』出来たように、一日も早い能登の『復興』から『福興』そして『福高』を願ってやみません。



◆防災の担い手として地域へ！ ～消防防災サークルToCoToN FASTから消防団員が誕生しました！～



消防防災サークルToCoToN FASTは地域の防災活動などにも積極的に参加しており、11月4日(土)は倉吉消防署で開催された鳥取中部ふるさと広域連合消防局50周年記念イベント・消防フェアに参画しました。当日は、新聞を活用した防災グッズ作りブースを出展するとともに、イベントスタッフとしても活動し、地域の方のみならず、消防士・消防団の方とも交流しました。



また、11月23日(木・祝)には、消防団や消防団活動を知ること、地域とのつながりを構築することを目的に倉吉市の上井分団の方と交流し、格納庫の見学をはじめ操法体験、非常食を試食しながら意見交換などを行いました。

そしてなんと！サークルメンバー1名が倉吉市の消防団へ入団！年明けには早速、出初式などにも参加させていただき、学びを深めています！

鳥取県ふるさとキャリア教育の『CHA3プログラム』で中学生や地域の方とトーク！

10月18日(水)、倉吉市立東中学校で行われたCHA3(チャチャチャ)プログラムに鳥取看護大学と鳥取短期大学国際文化交流学科の学生108名が参加し、中学生や地域の方と交流しました。このプログラムは、中学生と地域の大人・大学生が少人数のグループで、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話す中学生のための教育プログラムとなっており、鳥取県教育委員会が「ふるさとキャリア教育」の一環として実施しています。

「自分では思いつかないような意見をたくさん聞くことができた」「自分の視野を広げることができた」「自分の傾聴力が上がった気がする」など、学生達にとっても、学びの多い時間となりました。来年度はもっとたくさんの中学生と出会っていきなりたいと思います。



鳥取県との保育人材養成等に関する協定締結

12月3日(日)、鳥取短期大学は鳥取県と「保育人材養成、確保及び定着と保育・幼児教育の質の向上に関する協定」を締結しました。

はじめに、本学において連携協議会を開催し、保育人材の確保・定着に向けた連携について現状や課題等の意見交換を行い、その後の協定締結式で、平井伸治知事と山田修平理事長が協定書に署名しました。

今後、鳥取短期大学は鳥取県との連携を一層強化し、保育人材の確保と定着に向けた取組みを進めていきます。



～地域で活動 地域で対話～

鳥取短期大学幼児教育保育学科のオペレッタが、今年度より復活!

次々とオファーが届き鳥取短期大学附属こども園、大正保育園、向山保育園などで「シンデレラ」を公演しました。セリフや演技方、全体の構成や小道具など、学生同士で意見を出し合い、より良い作品になるよう工夫を重ね、子どもたちとふれあいながら保育者としての学びを深めました。来年度はどんな演目になるのか、お楽しみに!



くらし国際交流フェスティバル2023

11月12日(日)、「くらし国際交流フェスティバル2023」が開催され、両大学の学生・教職員がスタッフとして参加しました。各ブースでは、関連団体の活動紹介、ステージイベント、諸外国の食べ物販売などが行われました。鳥取短期大学国際文化交流学科は、英語絵本の読み聞かせ、カルタやぬりえ体験のブースを出展し、学生たちは来場した子どもたちと楽しそうに接していました。また、生活学科食物栄養専攻は、おからを使った手作りブラウニーを販売し、購入者からも大好評でした。

親子で学ぼうSDGs『色が変わる?!パンケーキ作り』

11月25日(土)、西郷コミュニティセンター(倉吉市)にて「親子で学ぼうSDGs『色が変わる?!パンケーキ作り』」が開催され、鳥取短期大学生活学科食物栄養専攻の加古大也助教がSDGsの概要や大豆を原料とする食材を紹介した後、学生3名がブルーベリー入りのパンケーキを焼き、レモン汁を垂らすと生地がピンク色に変身するデモンストレーションを行いました。その後、参加者は親子で協力しながらパンケーキを焼き上げて試食し、「色が変わるというワクワク感がよかった」「洗い物を出さない工夫が勉強になった」などの感想がよせられました。



小学生と対話型鑑賞にチャレンジ!

12月7日(木)、鳥取短期大学国際文化交流学科1年生が鳥取県立博物館で琴浦町立浦安小学校と倉吉市立明倫小学校の4年生を対象に対話を通じた作品鑑賞のファシリテーターにチャレンジしました。学生たちは体験型の現代美術作品を案内しながら、「どんなふうに見えた?」など、作品の印象を引き出そうとコミュニケーションをはかりました。難解な印象を持たれるかもしれない現代美術作品ですが、学生のファシリテーションのもとで、小学生たちは作品を思いきり楽しんでいました。

みささ町かがやくこどもフェスティバル

12月10日(日)、「みささ町かがやくこどもフェスティバル」が開催され、鳥取短期大学の学生がステージ出演やブース出展などを行いました。オープニングイベントでは、ダンスサークル「jumihakcs」によるダンスと幼児教育保育学科 津上研究室によるオペレッタを披露しました。また、生活学科食物栄養専攻のブース「豆つかみゲーム大会」では、大小さまざまな豆を箸でつまんで別皿に移動させるゲームに挑戦! 地域の方々より「楽しかった」「すばらしい舞台だった」とお声掛けいただき、学生たちの励みになりました。



令和5年度鳥取県議会地域県土警察常任委員会「出前県議会」に参加しました

11月22日(水)、県立生涯学習センター県民ふれあい会館で開催された鳥取県議会地域県土警察常任委員会による「出前県議会」に、鳥取看護大学と鳥取短期大学の学生4名が参加しました。この「出前県議会」は、常任委員会の審査等に活かすため、広く県民の意見を聴くことを目的に実施されています。

今回は、「投票率向上をめざして」をテーマに開催され、常任委員会委員8名と県内大学生9名が3グループに分かれて意見交換を行い、各グループでは「選挙に関心があるか」等、さまざまなトピックについて和やかな雰囲気の中意見交換が進められ、参加した学生たちからは、「貴重な経験になった」などの感想がありました。

今回の経験が選挙への関心に繋がることを期待しています。



～海外とのつながり～



▶ サント・トーマス大学WEB交流会

11月20日（月）、鳥取看護大学と学術協定を結んでいるサント・トーマス大学（フィリピン・マニラ市）がオンライン交流会を開催しました。学生たちは事前に大学生活や日本の文化紹介のプレゼンテーションやビンゴゲームを英語で準備し、当日はお互いの発表を聞きながら交流を行いました。

▶ モンゴル赤十字社との交流

11月20日（月）、鳥取看護大学学生赤十字奉仕団14名がモンゴル赤十字社の青少年赤十字メンバー3名と交流を行いました。赤十字のシンボルツリーである糸杉の前で記念撮影を行った後、お互いの活動の紹介や救急法の研修などを行い、両国の活動について理解を深めました。参加した学生からは「今後でもできる支援を自分の住む地域で行っていきたいと思う」などの感想が聞かれました。



▶ 「Christmas in Europe ～ヨーロッパのクリスマスを楽しもう～」

12月13日（水）、「Christmas in Europe ～ヨーロッパのクリスマスを楽しもう～」を開催し、学生・教職員約60名が参加しました。はじめに鳥取短期大学幼児教育保育学科の津上崇准教授が中心となり、「ジングルベル」「きよしこの夜」などのクリスマス曲や、歌劇「ボエーム」などのオペラ曲が披露され、会場は美しい歌声と大きな拍手に包まれました。曲の合間には、ヨーロッパのクリスマスの過ごし方や伝統について紹介され、後半には学生サークル「グルメラボ」が制作したおからブラウニーなども提供されました。参加者からは「ヨーロッパのクリスマスや音楽の文化に触れることができ楽しかった」「手作リスイーツのクオリティが高く、おいしかった」などの感想がよせられました。

とっとりプラットフォーム5+αの取組み

美術館関連施設の現場研修を行いました！～竹中大工道具館・倉敷美観地区～

とっとりプラットフォーム5+αが取組んでいる「県立美術館のサポート・活用」事業の一環で、昨年度に引き続き、鳥取短期大学をはじめ建築を学ぶ4つの高等教育機関の学生たちが美術館関連施設の現場研修を行いました。9月13日（水）に19名で「竹中大工道具館」（神戸市）を見学し、10月20日（金）には27名で倉敷市を訪れ、美観地区の街並みや建築物、大原家の住居建物「大原本邸」、紡績工場を再利用した施設「倉敷アイビースクエア」を見学しました。

それぞれの施設では学芸員等に丁寧に説明をしていただき、学生は熱心に説明を聞いていました。現場研修について、「とても貴重な経験」という学生の声もあり、これからの担う学生たちの学びに繋がる時間となりました。



県立美術館館長予定者 尾崎氏の講演会を開催しました！～県立美術館フィールド活用支援講演会～

1月28日（日）、倉吉交流プラザにおいて、鳥取県教育委員会美術館整備局美術振興監の尾崎信一郎氏を講師に招き、「現代美術と地域社会－美術館の新しい試み」と題した講演会を開催し、鳥取短期大学の学生や地域の方々など約70名が参加しました。

美術館の歴史や役割、県立美術館の開館に向けての進捗状況、美術館の新しい役割や美術館を介して地域を変えていく可能性などを話され、参加者からは、「美術館についての理解度や見方が変わった」「多くの人に利用されることや開館による地域の活性化を期待する」等の声がありました。



地域のみなさまからいただいた食品を学生に配布しました

12月15日（金）、両大学の学生を対象に、鳥取県生活協同組合のフードドライブ事業で地域のみなさまからいただいた支援食品の無料配布を実施しました。学生たちは行列をつくり、食品やカップ麺、お米、缶詰、調味料、飲料などの「善意の食品」を喜んで受け取っていました。食品価格が高騰して地域のみなさまも大変な中、たくさんの支援をいただき本当にありがとうございました。



ふるさと納税（個人版・企業版）のご案内 ～倉吉で頑張る大学生を応援してください！～

このたび倉吉市との連携事業において、ふるさと納税を活用した本学への支援制度が開始されました。この制度は、ふるさと納税サイトで倉吉市へのふるさと納税の用途を「鳥取看護大学・鳥取短期大学への支援」に指定いただくと、寄附額の一部が本学への補助金となり、本学学生の学びの支援や地域と連携した取組みにかかる経費など、さまざまな活動に充てられるものです。

みなさまのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

寄附のお申込みはコチラ
ふるさと納税の使いみちは

ふるさとチョイス

楽天



【「鳥取看護大学」への支援】
【「鳥取短期大学」への支援】

を選択

《見学会を企画しませんか！》

グローバルセンターでは、鳥取看護大学、鳥取短期大学、絣研究室等への見学を受付けています。
みなさまのご要望に沿ったプログラムの相談に応じています。



11月1日(水)

倉吉市立高城小学校4年生13名が、鳥取短期大学絣美術館を訪れました。この見学会は、社会科の授業で地域に伝わる伝統工芸について学ぶなかで、倉吉絣の魅力について知り、ふるさとの伝統工芸に親しむことを目的として企画されました。絣の歴史や絣ができるまでの制作過程、絣が生活の中でどのように使用されてきたかなどの説明を聞き、展示されているたくさんの絣作品を見学し、織り方の説明なども受けました。



11月21日(火)

倉吉市の北谷コミュニティセンターサロン19名のみなさんが鳥取看護大学の見学にいらしゃいました。荒井優学長による「老いの幸せ」と題した講話を聴講され、「人生の考え方について新たな学びを聞くことができた」「感謝できる人生を送りたい」などの感想を持たれたようでした。その後、シグナスキッチンで昼食を召し上がり、見学の道中では「すれ違う学生さんが礼儀正しいと感じた」「ハツラツとした若い人たちの姿を見て元気と明るさのおすそ分けをもらった」などの感想をいただきました。



12月12日(火)

兵庫県香美町香住区中央公民館「草木染講座」5名のみなさんが、絣研究室・絣美術館の見学にお見えになりました。公民館で生藍葉やアカソなどの素材を用いて草木染を行っているグループで、絣研究室の染色の内容を知りたいとのことでした。美術館の絣作品を鑑賞し、絣研究生の作業の様子などを熱心に見学し、研究生たちと交流されました。



～鳥取短期大学生活学科食物栄養専攻 × マルイ共同開発！～ 「暖暖弁当～DANDAN BENTO～」



- 【ま】… まめ類
- 【ご】… ごま、種実類
- 【わ】… わかめ、海藻類
- 【や】… やさい類
- 【さ】… さかな類
- 【し】… しいたけ、きのこ類
- 【い】… いも類

「地域に健康とおいしさを届ける」「食育を通じた活性化」を目的とした食育バランス弁当第4弾「暖暖弁当」が11月11日(土)より鳥取県、島根県、岡山県のマルイ全店で販売されています。

寒い季節向けの身も心もあたたまるやさしさ満点のお弁当をテーマに、健康な食生活を送るための食材の頭文字の語呂合わせである「まごわやさしい」を各メニューに取り入れ、栄養バランスのよい、からだを思いやる弁当に仕上げました。今回も弁当名やパッケージシール、POP広告は生活学科住居・デザイン専攻の学生がプロデュース。試作を重ねて作り上げた学生渾身のお弁当は発売初日から好評を博しています。次回もお楽しみに！

鳥取短期大学「絣研究室」 修了作品展のおさそい

倉吉絣の保存と後継者の育成を目的とする「絣研究室」研究生の作品展で、着物、袋物、テーブルセンターなどを展示します。

- 期間 令和6年3月29日(金)～3月31日(日)
午前10時～午後5時
- 会場 倉吉歴史民俗資料館 第2展示室
(倉吉市仲ノ町)

令和6年度絣研究生募集中！

伝統工芸「倉吉絣」の技術を習得する社会人向けの養成講座です。糸の扱い方から機織りの工程まで、ひとつおりの技術を1年間学び、修了作品として各自がデザインしたよこ絣の着尺を織り上げます。

- ◆講師 よしだ こうのすけ 吉田 公之介さん(鳥取短期大学絣美術館館長)
- ◆定員 10人程度
- ◆講習期間 令和6年4月～令和7年3月
- ◆開講日 毎週火・木曜日 午前9時半～午後4時半
- ◆募集期間 3月29日(金) ※必着
- ※募集要項はホームページに掲載しています。

お問い合わせ先

鳥取看護大学
鳥取短期大学
グローバルセンター

《発行》 鳥取看護大学・鳥取短期大学グローバルセンター 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854
TEL : 0858-27-0107 FAX : 0858-26-9138 E-mail : glocal@cygnus.ac.jp